



広報 みまた

発行・編集 北諸県郡三股町総務課 ☎52-1111 発行1月1日 No.273

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ

交通安全 今日笑顔でゆずりあい

広報みまた 1月号

おしらせ



ファミリージョキングに 参加しませんか

日時 一月二十四日(日)
午前八時半～九時
受付 中央公民館前

参加資格 小学生(十二歳)以下の
子供とその家族

距離 二、〇〇〇メートル

参加料 一人五十円

申込締切 一月二十日(水)

申込み先 教育委員会保健体育課
(健康走ろう会の種目
として行うものです)

新春企業交流会

日時 一月二十一日(木)午後三時

会場 都城ニューグランドホテル

☆講演「パート労働者の雇用対策」
☆懇談会(会費二千円)
参加申込は都城圏域テクノパレ
建設推進事務局
☎二五二一六二〇〇

自衛官募集

二等陸・海・空士(男子)

応募資格 日本国籍で十八歳以上
二十七歳未満の男子

身分 特別職国家公務員

その他 各種資格試験の取得機会あり。大学2部・定時制高校への通学や通信教育も可能。

受付試験 逐次受付試験中
※詳しくは、宮崎地連都城募集事務所☎二三一三九四四まで

生涯学習

第三回生涯学習推進大会

日時 二月二十八日(日)午前九時

会場 三股中学校体育館

今月の納税

県町民税 4期
保険税 5期

納期限内に納めましょう

考えよう知ろう語ろう北方領土
二月七日は「北方領土の日」

一般寄付

轟木静子 10万円

桜流正静会十周年を記念してチャリティコンサートを実施され、その益金を社会福祉に役立てて下さいと寄付されました。ありがとうございました。

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付の次の通りいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございました。

納入者	続柄	故人名	地区	金額
福永久徳	母	フヂエ	葦池	十万円
原田千穂子	夫	健郎	上菜	三万円
瀬戸アサ子	夫	敏雄	前首	二万円
坂元トシ	夫	源次	寺桂	三万円
桑畑 国幸	母	キミ	山王原	五万円
有村久美子	夫	政二	葦池	二万円

おわび

ふるさとまつりのパンフレットに掲載した協賛社名で(有)福永樹脂工業がもれていました。おわびし訂正します。

三股町の人口

平成4年12月1日現在

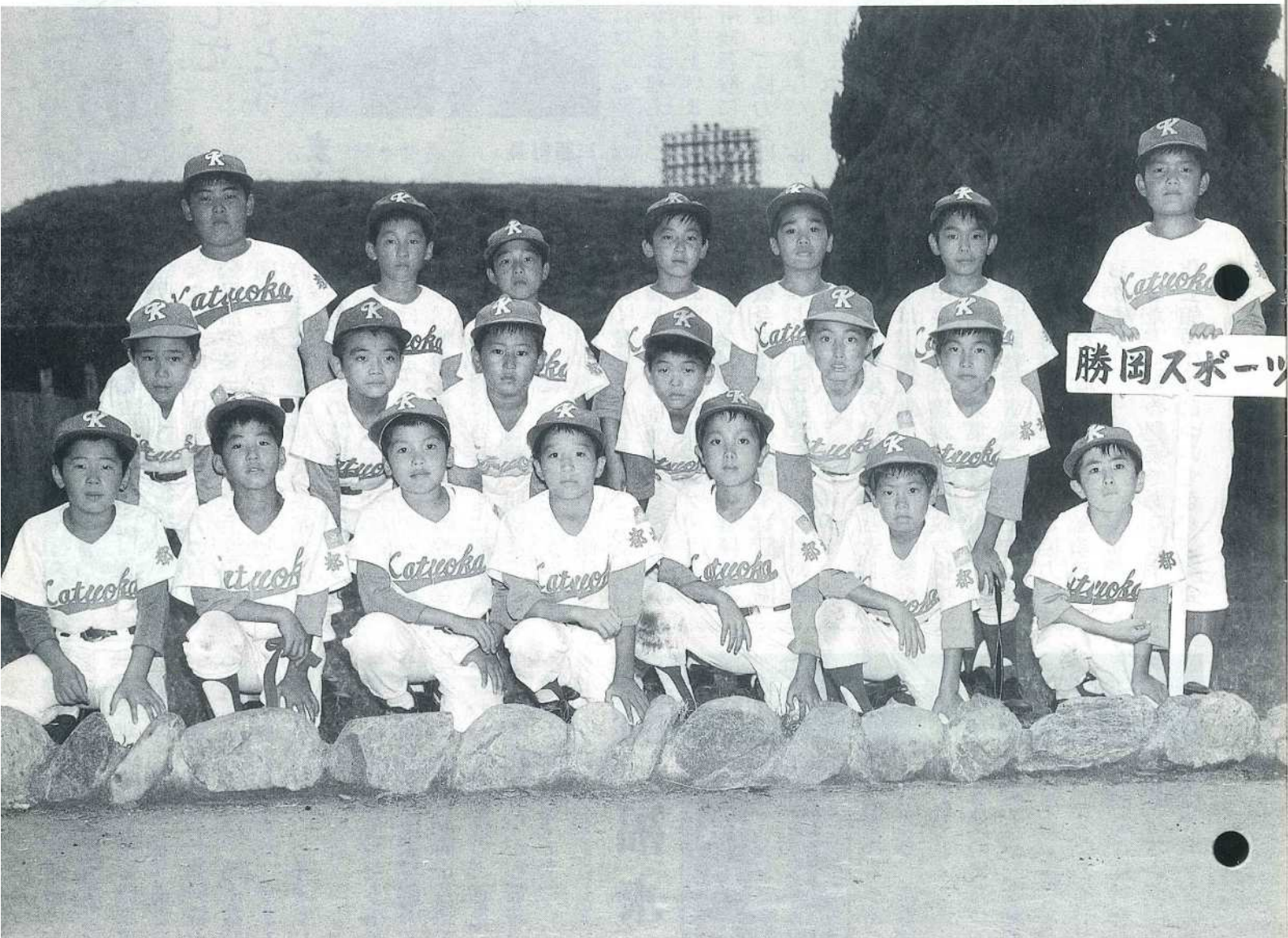
男	10,394人	出生	19人
女	11,459人	死亡	19人
計	21,853人	転入	98人
前月比	+41人	転出	57人
世帯数	7,255戸 (+14戸)		

スポーツ少年団

勝岡野球

団員は27名。「ルールとマナーの励行」や「声の出る野球」をモットーに、内田明廣監督(46歳)らが指導。シーズン・オフの現在、走り方を主体にした体力づくりに励んでいます。

平成5年
新年号



勝岡スポーツ

年頭のごあいさつ

あけまして
おめでどう
ございます



三股町長
福永昌徳

町民の皆様には、希望に満ちた平成五年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、町政各般にわたり一方ならぬご支援・ご協力を賜り、ありがとうございます。心から厚くお礼申し上げます。

お陰を持ちまして昨年は、健康管理センターとテニスコートの建設をはじめ、第三地区公民館の改築や梶山農業集落排水事業、上米公園と一町田公園の整備事業、勝岡蘆池線の道路改良など、諸事業を順調に推進することができ、本町が更に躍進するための確かな足掛かりを築くことができました。

また、昨年四月に二十九の自治公民館が発足し、集落の活性化に向けた様々な動きが始まるとともに、それぞれの地区公民館を拠点に生涯学習への気運が高まっています。これは喜びに堪えません。

私はここに、新年を迎えるに当たり、町長としての責務の重大さを改めて自覚するとともに、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるべく、更に「豊かで住みよい活力ある町づくり」に全力を傾注していく覚悟であります。このため、議会との共同歩調のもとに、「ふれあい行政、モーニング・フォーラム」など皆様のご意見を拝聴する機会を積極的に設け、対話と協調による町政運営をめざしたいと考えております。

平成五年度の主な事業と致しましては、第七地区公民館の改築や稗田集会場の建設、長田峡の橋梁整備、梶山農業集落排水事業、椎八重公園整備事業などを予定しており、町議会のご理解・ご協力を賜りながら取り組みたいと考えております。

年頭に当たって



町立病院長
叶 昭人

皆様、あけましておめでどうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年号から、在京三股会の方々に「ふるさとへの便り」を寄稿してもらうことにしました。



在京三股会会長
岩崎俊雄(上新出身)

ふるさとの皆様、あけましておめでどうございます。

「ふるさとへの便り」の第一号として、在京三股会の現状をご紹介します。在京三股会は、東京及びその周辺に住んでいる三股町出身者

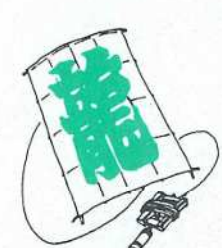
の特別委員会でもご審議いただきましたので、新年度に設計を行い、平成六年度までには建設工事に着手したいと思っております。

この他、ご要望の強い植木地区の公園については、国の補助金等の問題もありますが、できる限り整備していきたいと考えております。

更には、生涯にわたる福祉対策や道路などの生活環境整備、農畜産業や商工業の振興など諸事業全般にわたり、皆様のご意見・ご要望を広く拝聴しながら最善の努力を致す所存であります。

どうか今年も、町政発展のため尚一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、この平成五年が皆様にとって最良の年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭に当たってのご挨拶と致します。



あなたの声を町政に

ふれあい行政 モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。

今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。

フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

- 記
- 一、日時 一月二十日(水) 午前七時～八時
 - 二、場所 役場四階会議室

三股町立病院は、皆様の変わらぬご指導・ご援助のもとに、職員一同努力し、平成四年も無事越年することができました。誠にありがとうございます。

今年、町立病院にとって、画期的な年となります。

まず、基準看護を取得すべく看護婦を充足し、看護サービスの充実を図って参ります。看護の質のアップに本格的に取り組みます。

次に、行政部門であります健康管理センターも、病院敷地内に只

今建設中で、三月中旬には竣工し、四月から運営の運びとなります。予防注射、各種の検診などの予防活動の拠点となるはずであります。町立病院としても、全面的なバックアップを目指し、皆様の保健にお役に立ちたい所存であります。

一方、院内の在宅介護支援センターは、既に平成三年十月より二十四時間体制で、要介護老人の介護相談に当たっております。

以上のように、保健・医療と福

祉の連携がハード面では実現いたします。今後はこの三者の強い連携を推進し、内容の充実を図り、皆様の健康維持管理にお役に立ちたいと、職員一同胸を熱くしております。なにとぞよろしくご支援賜りますよう、切にお願い申し上げます。

最後に、今年一年の皆様のご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。



ふるさとへの便り

の親睦会として昭和五十九年に結成され、以来、毎年秋に懇親会を実施しております。

現在、名簿に登録されている人は三百四十八人ですが、懇親会に集まる人は七十人から八十人と約二割程度。出席率からすると余りいいとは言えません。が、毎年、久しぶりの人、あるいは思い出の人たちが顔を合わせ、懐かしく楽しい会合になっております。

会合には毎回、ふるさと三股町から町長か助役、その他の方にご出席いただき、町政の現状等を説明いただいております。

が、先般の福永町長のお話では、人口が二万二千人近くになっていくということ、町の発展の様子がしのばれた次第でありました。

ところで、在京三股会の名簿を見て感ずることは、七十歳以上の年輩の方が少ないということ。これは、戦前三股では旧朝鮮(現在の韓国及び北朝鮮)や満州(現在の中国東北地方)、台湾等へ、当時の言葉で言えば「雄飛」した人たちが多く、東京方面に来た人が比較的少なかったせいではなかったかと考えています。しかし、私たちが存じ上げない、戦前から東京で活躍された在京の先輩の方々もおられるのではないかと

思われますので、今後そのような方々も見つけて、できるだけ多く

の人に参加してもらい盛大な会にしたいと思っております。

そのような中で、今年九十歳になられる東野マスさん(旧姓：草留、勝岡出身)は毎年来ていたでいており、今回は都合で聞けませんでした。今回は、前回、前々回とも詩吟を披露され、出会者に感銘を与えました。

以上、在京三股会の現状について大ざっぱに申し述べましたが、終わりに、郷土三股のますますの発展と郷里の皆様方のご健康をお祈りして、東京からの便りいたします。

次号は桑畑三則さん(下新出身)にリレーします。



力強く選手宣誓する
梶山の横山館長



▲苦しみを乗り越えて次走者へ▼



▲沿道の声援に随所でデッドヒート



▲17区間では姉妹といとこが「しれつ」な闘い



▲広報に先走りした消防車



▲閉会式の後に行われた白バイ隊のアクロバット

ゴール直前の盛大な声援に
疲れも忘れて「ニッコリ」



「がんばれー!」「しっかりー!」

—沿道で1万人が声援—



事故追放の「のろし」上がる

交通安全駅伝大会

大会順位表

優勝	第6地区	1時間56分26秒
2位	第3地区	1時間57分26秒
3位	第4地区	1時間59分30秒

申告タイム順位表

1位	第4地区	誤差 1分50秒
2位	第5地区	〃 2分45秒
3位	第8地区	〃 4分19秒

第一回交通安全啓もう駅伝競争大会は十一月十五日、役場正門前を発着点とする二十四区間、三十一・五キロメートルのコースで行われ、二百人を超える選手が晩秋の三股路を駆け抜けました。

駅伝大会は、交通安全に対する町民の意識を高め、交通事故・違反のない住みよい活力ある町づくりに進めようと町と交通安全協会三股支部（前田吉秀支部長）が共催で開いたもの。

大会には、町内全地区と都城警察署から各一チームの計十チームが参加。午前十時、消防ラッパ隊の演奏の後、ピストルを合図に小学低学年生が役場正門前をスタートし、人生リレー形式で高学年、中学生、青年、壮年と上の年代に次々にタスキを受け継ぎました。

大会は、町内をほぼ一周する形でコースが設定され、また、駅伝の広報に消防車両十数台が先走りしたこともあってか、沿道や中継所では延べ一万人近くの人たちが繰り出す盛況ぶり。どの選手も、「がんばれー」「しっかりー」の声援を背に、至る所で白熱したデッドヒートを展開しました。

大会の結果は、第六地区が接戦を制して優勝し、申告タイムでは第四地区がわずかに1分50秒差というチームワークのよさを示しました。また、ひそかに優勝をねらっていた警察チームは、選手が十人と少なく、一人当たりの走る距離が長かったせいもありますが、四位と不本意な成績に終わり、本町選手の強さに脱帽していました。結果は次のとおりです。

あがな 贖いの日々

平成二年一月三十一日。私自身にとつては一生忘れることのできない日です。私は、田舎の地元建設会社に勤めていて、営業の仕事をしていました。その会社に勤務するようになってから、六年が過ぎていて、業界でもだいぶ顔が広がって来ていたところでした。これからはますます努力をして、欠かすことのできない人間にならなければいけない矢先の出来事になってしまいました。

事故当日は、夕方からやきとり屋で会合が行われる予定になっていて、私自身が出席することになっていました。やきとり屋ということで酒はつきものですが、自分では飲むつもりは全くなかったのですが、自分では全くなかったのに、結局飲むことになってしまいました。今日は飲まないつもりでいたにもかかわらず、飲んでしまった自分自身の意志の弱さが出てしまったような気がします。その後、気心の知れた人達と二軒行った後、自分で車を運転してしまつたのです。そのときの私は、

さほど酔っているという感じではなく、足元がふらついたりすることもなく、これならなんとか帰れるだろうという甘い気持ちで先行してしまい、運転していつてしまったと思います。

帰るころには雪が積もっていて、まだかなり降っている状態でした。しかし、車に積もっている雪を落とすこともなく、飲んでいながら運転はしないように注意されながらも、運転してしまつたのです。

それからわずか五分くらい後に、道路左側で車から降りてチェーンの調整をしていた人をはねてしまつたのです。スピードは出していませんでしたが、気が付いたときにはもう間に合わず、雪でスリップしながら道路左側のブロックにぶつかり、その後縁石に乗り上げて止まりました。

反省の日々

会社員 34歳

て相手方の同乗者が「救急車」と言う言葉に答えたにもかかわらず、また車に乗り込んでしまつたのです。

なんとかしなければいけないと思いつつ車が動く、自分がやった事の重大さから気が付いた時には自宅に帰っていました。時間にすれば十数分間のことでしたが大変なことをしてしまい、自分の人生もこれで終わりだと思っていました。

自宅に帰り妻の顔を見ても何も言ひ出すこともできないまま、朝になつていました。朝、妻が私の車の破損状態に気が付き、私に質問してくるのでも私も隠していることもできず、一部始終を話ししました。

その後警察へ電話をして、自宅で緊急逮捕となりました。その間はとにかく自分のやったことに対する、後悔の気持ちだけでいっぱいでした。酒さえ飲まなければ、車さえ運転していなければ、雪が降つてはいたものの、そればかりに責任を転嫁するわけにはいきません。

今までにも時々、酒を飲んで運転をしたことがあります。しかし、それはたまたま運が良く事故

を起こすこともなく、警察に捕まることもなかっただけで、事故とは背中合わせだどつくづく感じました。

被害者の方は、父親の仕事を手伝っていた二十一歳の若い将来のある青年でした。三人兄弟の末っ子で、御両親もかわいかったに違いありません。そんな尊い生命を奪つたわけですから、どんな言葉を並べてみたくらい許してもらえないわけではありません。

今の自分ができることは、心の底から冥福を祈るとともに、反省し、二度と同じ過ちを繰り返さないことだと思ひます。遺族の方にはもちろんのこと、自分の家族をはじめ親戚の方にも多大な心配や迷惑を掛けました。

今市原刑務所において反省の日々を送っていますが、被害者の方の分まで一生懸命生きていきたいと思ひます。そして社会において必要な人間になれないまでも、存在感のある人間になって少しでも役に立てるように、努力していきたいと思ひています。

交通事故第一当事者 三股町のワースト順位

11月末現在 12位

されると、消防団員や来賓から盛大な拍手が送られていました。ラッパ隊は、出初式などの際、式典に欠かせないファンファーレや行進曲を担当するとともに、行進では常に先頭を歩く、いわば消防団の花形的存在。消防団では、今後更に女性隊員を増やしたいと考えています。希望される方は、役場総務課までご連絡下さい。

五二二二一 五二二二一
ラッパ隊隊員は次のとおり
(隊長) 森 忍 (指揮者) 岩崎龍郎 (隊員) 瀬尾真紀、堂領善満、福田哲巳、国分 至、初森明義、東中九州男、日高輝幸、野崎 修、玉利通男、西山雄治、川上佳浩、原口あつ子

魅力ある消防団をめざして



発隊式で練習の成果を披露するラッパ隊員

消防団ラッパ隊を創設

隊員は女性一人を含む14人

三股町消防団(団長中村修一、団員百五十名)に、消防出初式などの式典時にファンファーレなど

を担当するラッパ隊が創設され、その発隊式が十一月二十七日、午後六時半から勤労者体育センター

で行われました。

ラッパ隊をつくつたのは、消防団の活性化を図るのがねらい。近年、3K(きつい、汚い、危険)のイメージなどから団員のなり手が少なくなっているため、魅力ある消防団づくりをめざそうと七月から準備を進めてきたもの。

事前に団員や一般の人から候補者を探し、女性一人を含む十四人が自衛隊員の本村隆二さん(二十九歳、植木)の指導を受けながら、五か月間にわたって週三回の練習を積んできました。

発隊式では、中村団長から隊員ひとり一人に辞令が交付された後、隊員が前に一列に並び練習の成果を初披露。「荣誉礼」や「早足行進曲」など七曲が次々に吹奏

一一〇番は正しくあわてずに

一月十日は「一一〇番の日」

一一〇番は事件や事故など急を要する場合の通報システムです。

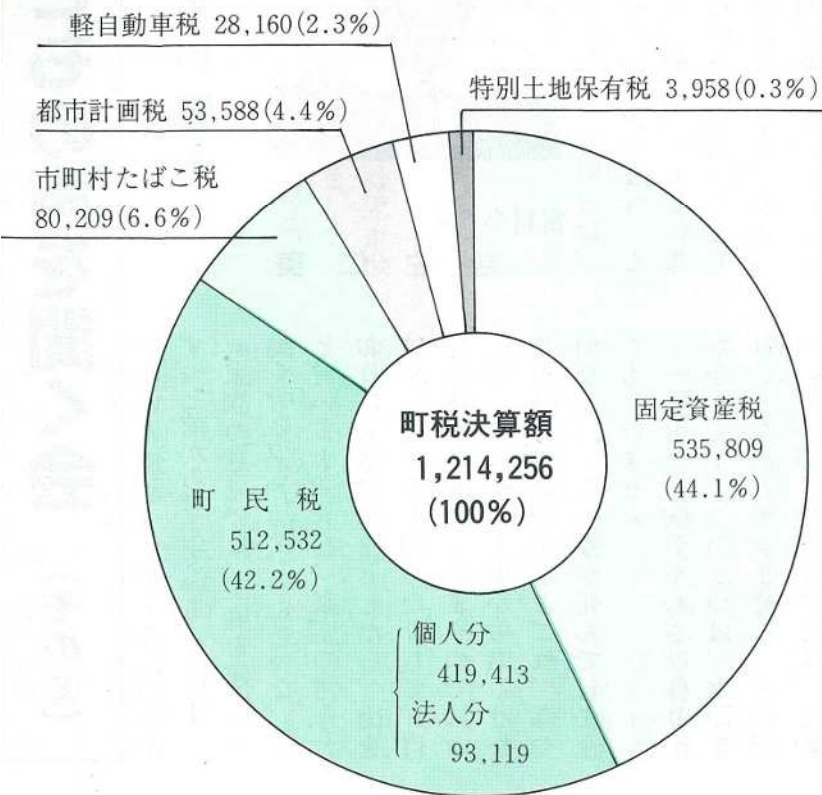
一一〇番するときには、次の要領で落ち着いて正確にお答え下さい。

◎何があったか(事件事故の種類)

- ◎どこで(発生の場所、目標など)
- ◎犯人の特徴(人相、服装、人数)
- ◎逃げた方向(〇〇通りを△△の方へ)
- ◎逃走手段(車、バイク、自転車、ナンバーや塗色)
- ◎あなたの住所、氏名、電話番号
- ◎いたずら電話はやめましょう。

町税の状況

(単位：千円)



町税収一、二一四、二五六千円を町民一人当たり単純(平成四年三月末人口二一、六二二人)に換算すると、五六、一五八円の町税を納めたこととなります。

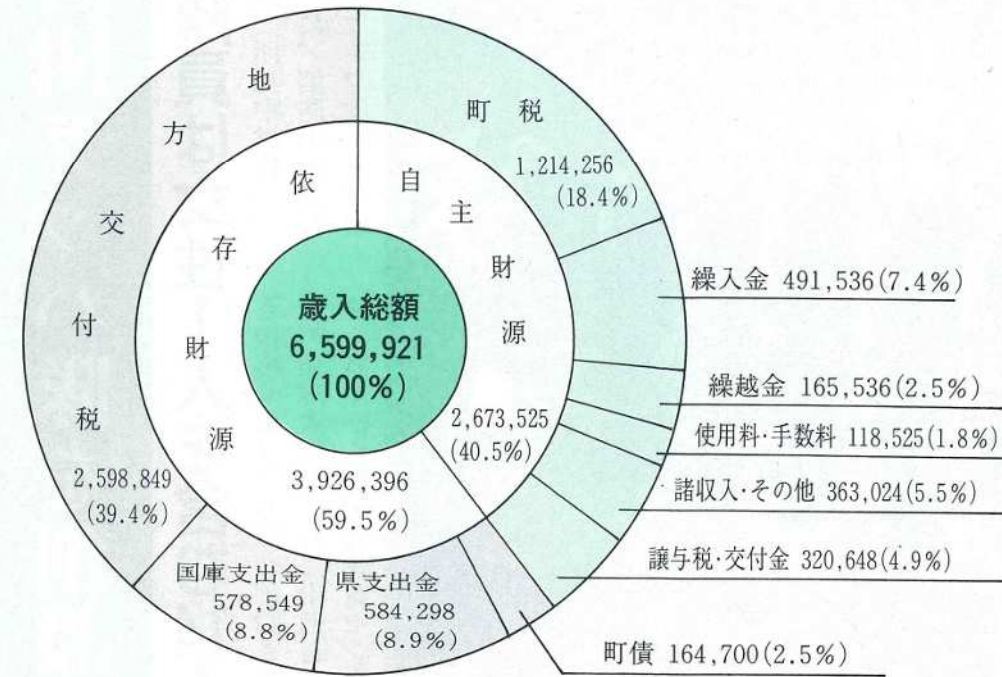
一方歳出では、地方交付税や町税、国・県からの補助金、町債(借入金)などを使って町民一人当たり二九七、三九三千円でいろいろな事業が行われました。

一方歳出の性質別支出の状況では、義務的経費が三五・三%、經常的経費二〇・七%、投資的経費

二四・〇%、その他の経費二〇・%の割合となっています。

自主財源と依存財源の状況

(単位：千円)

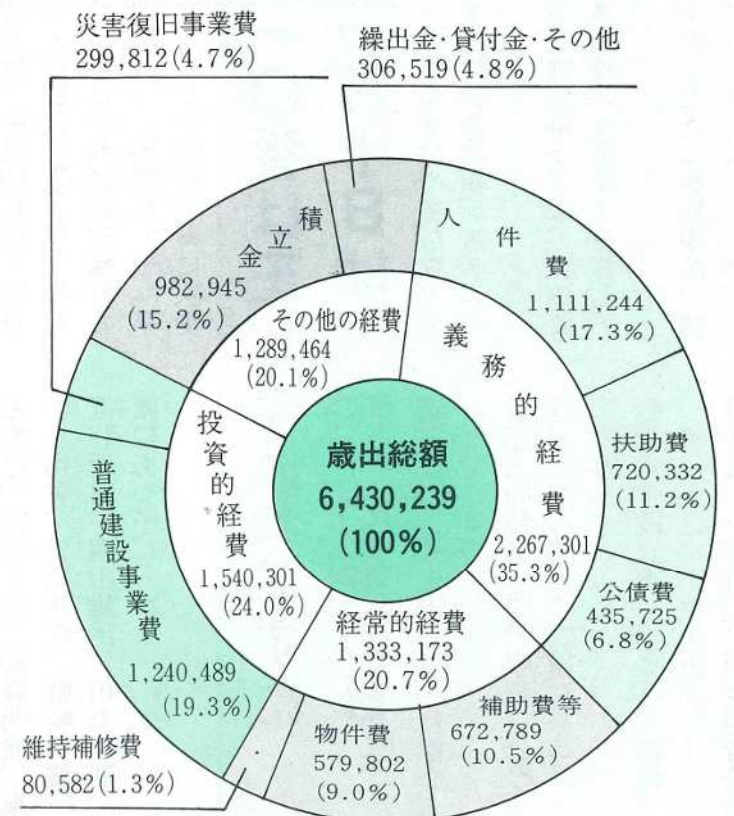


平成四年度十二月、議定例会で認定
 ・これをもって町条例「財政事情の公表」にかえます。
 平成三年度一般会計歳入歳出決算の状況を次のようお知らせします。

平成三年度一般会計歳入歳出決算

義務的経費・經常的経費 投資的経費等の状況

(単位：千円)



平成三年度三股町一般会計歳入歳出決算は、円グラフが示すように、歳入総額六、五九九、九二一、千円(前年度六、二三四、六五一、千円)歳出総額六、四三〇、二三三、九千円(前年度六、〇六九、一一五、千円)で、これを前年度と比較すると歳入では、額にして三六、五、二七〇千円、率にして五・九%の増となり、歳出では、額にして三六一、一二四千円、率にして六・〇%の増となります。

平成三年度三股町一般会計歳入歳出決算は、円グラフが示すように、歳入総額六、五九九、九二一、千円(前年度六、二三四、六五一、千円)歳出総額六、四三〇、二三三、九千円(前年度六、〇六九、一一五、千円)で、これを前年度と比較すると歳入では、額にして三六、五、二七〇千円、率にして五・九%の増となり、歳出では、額にして三六一、一二四千円、率にして六・〇%の増となります。

事業名	事業費 (単位：千円)	主要事業の成果
三股西小校舎増築事業	61,123	4教室、400㎡
三股中校舎増築事業	42,977	3教室、270㎡
庁舎外来駐車場整備事業	38,556	用地取得面積1,513㎡、駐車台数34台
地区公民館用地取得事業	34,061	第3地区898㎡、第2地区3,321㎡
健康管理センター用地取得事業	10,988	用地取得面積760㎡
農道整備事業	45,837	宮田、村下、千町牟田、石ヶ迫農道ほか
町道整備事業	259,011	勝岡蓼池線道路改良事業ほか40件
山王原早水線雨水対策事業	52,220	ボックスカルバート布設、L=215m
公園整備事業	104,183	上米公園、早馬公園、一町田公園、長田峡
テニスコート建設事業	58,197	用地取得面積5,437㎡
三股小大規模改造事業	213,370	南校舎内部改造及びトイレ改造
給食センター整備事業	31,531	車庫、外溝工事及び焼却炉設置ほか
その他	288,435	電算室整備事業(23,127千円)ほか
計	1,240,489	

平成三年度普通建設事業実施状況

子どもたちの声を聞く会 (その2)

住みよい郷土へ



宮村小6年 岩佐仁美

私が住んでいる三股町では、年々人口が増えつつあります。しかし、それは三股町の中心部に集まり、宮村地区や長田地区などでは過疎化が進んでいます。私の通う宮村小学校でも、しだいに子供の数が減ってきています。

三股町の南方に位置するこの宮村小学校では、昨年から五・六年生で、小鷲巣地区に伝わる大太鼓踊りを受けつぎ始めました。その様子は、テレビや新聞でも何度か紹介されました。もちろん、三股町には、他にもたくさんさんの郷土芸能があります。しかし、いくらたくさんさんの郷土芸能があっても、受けつぐ人がいなければ何にもなりません。三股町の中心部だけでなく、宮村地区や長田地区にも人口が増えるようにするにはどうすればいいのでしょうか。これは、私は、私が

ばいいのでしようか。これは、私がずっと前から考えていることです。家族の意見では「工場を建てて、働く所をつくらばいいんじゃない」と言います。もし、家族の言うとおりに工場を造るとしたら、山をけずったり木を切ったりして、自然が破かいされてしまうのではないのでしょうか。工場から出るけむりや油で空気や水がよごれ、森や川などにいる生物が死んでしまうかもしれません。

三股町は、陶芸やわさび作りがさかんです。この二つは、水がきれいでないとできません。それだけ自然が多く豊かなのです。この財産は、決してなくしたくないのです。

私は、夏休みに、町の青少年育成事業の一環として、東京、大阪、奈良の研修旅行に参加させていただきました。その中で、東京のディズニーランドでパレードを見ながらこう思いました。(パレードの人達は、それが仕事なのに、楽しんで笑顔を私たちにを見せてくれる。私たちもそれを見ていてとても楽しい。こんなふうに子供たちが夢を与えられるものがあつたら人口も増えるのではないだろうか。)

しかし、人口が増えるとなると、自然破かい以外にも心配なことがあります。それはゴミの問題です。今でもゴミがたくさんあります。六年生になってから、私は、学校から家までの帰り道に、友達とゴミ拾いをしています。毎日必ず落ちています。それを見てみると、時々いやになることもあります。いつか新聞で、福岡県のある町では、たばこのすいがらなどのゴミを捨てると三万円以下の罰金制度が行われるようになったことの記事を見ました。私は、そんなことをしないで一人一人がゴミを捨てないよう心がけて、それを実行すればいいと思います。そして、私と友達が行っているようなことも広がってくればいいなと思っています。

研修旅行に参加して感じたことは他にもありました。人口が増えつつある三股町では、ぜひ考えていきたいことです。

第一は交通についてです。都会では、数分おきに電車がきますが三股駅は一時間ほど待たないと次の電車がきません。しかも無人です。バスも同じようなことが言えます。とても交通が不便です。交通と人の生活とは切っても切れないものです。お年寄りや体の不自由な人たちを大切にす意味から

めから終りまで先生方は一人も運動場へ出られず、しん判も、つなひきなどの重い用具の準備も、閉会式、閉会式の号令などもすべて私達で行いました。閉会式で放送委員の一人が「同礼」といった時、私はなみだが出そうになりました。あれから一か月、陸上記録会、遠足もすんで気持ちをあたらしにして今は、今月の二十一日に行う西小つ子フェスティバルの計画に取りかかっています。これは、私達児童会活動の中でみんなが楽しみにしている最も大きなイベントです。一年生から六年生まで自分達で工夫した発表を行います。三股西小学校の全校児童の楽しい「つどい」です。学校の目標である「進んで取りくむ子供」という目標に向かって活動します。

私は三股西小学校の六年生として、これまでの六年生がきずいて

こういう郷土にしたい



梶山小6年 石崎智久

きた数々のすばらしい伝統を守って、こうと努力してきました。外観の美しい学校を中身まで美しくするためには、まだしなければならぬことが残っていると思います。それは、みんなの心の問題です。美しい校舎をよごさないようにすることも大切ですし、ワークスペースで人にめいわくをかけるないように過ごすことも、もっと考えなければなりません。これら卒業まで五か月しか残されていませんが、それまでに小学生として、きまりよく生活するためにどうしたらよいか運営委員会で考えていこうと思っています。そして卒業の日、在校生に向かって「みなさん、このすばらしい伝統を守り続けて、また新しいことにしようとして下さい。」と、自信をもっていえるようになります。

ぼくは、都市市に住んでいますが、六年前に三股に移ってきました。三股はとても住みやすい町だと思います。特に、梶山の自然は大好きです。どっしりとした山、ゆつたりとした川、すんだ空気、こない所は他の土地にはないのではないかと思っています。そんな三股ですが、ぼくには不

わたしはこんな学校生活をのくりたい



三股西小6年 隈元友恵

も、交通が便利になってほしいと思います。第二に買い物です。商店街やデパートは、いろいろなものが一度に買えて便利です。しかし、そういう商店街やデパートに行こうと思うと都市市まで行かなければなりません。都会では車で遠くに行かなくても近くに大きなデパートや商店街がありとても便利そうでした。三股にもできると町に活気がでてくると思います。

私が大人になるころには、世紀も代わります。新しい世紀と一緒に新しい町づくりを進め、自然にひ害を与えないようにしながら人口を増やし、交通や買い物の便のよいつてきな町にしていきたいです。そして、それとともに、昔からある三股町のおさや伝統を次の世代の人たちにつかり残していきたいと思っています。

「すみわたる空、さわやかな風、さわやかな秋となりました。三股西小学校第四回運動会の始まりです。」これは、一か月前、花火の合図とともに始まった私達の運動会、入場の時のアナウンスです。第四回目の運動会、私達の学校、三股西小学校も開校してもう四年目となりました。

木のおいのプンプンする校舎、らせん状になった階段、広いバルコニー、人工しばふの中庭、広いホールなどがめずらしくて、胸がワクワクしたのは、三年生の時でした。それから三年間、私達は六年生がいろいろな活やくをするのを見てきました。

学校をきれいにする奉仕活動、音楽集いや野外給食の運営、「西小音頭」の作成、そしてあの勇壮な「奴踊り」など数々の活動を見て、私も六年生になったらこの伝統を守って行かなければならないと思えました。

今年六年生として、私は児童会の運営委員会の長となりました。いよいよ先ばいの活動を引きつぐことになったのです。一学期は、はじめての活動として「一年生をむかえる会」を行いました。次に「七夕音楽集い」のために、大きな川の川を作り、体育館の照明を暗くして、ファンタ

ジツクな音楽集いをするのでできました。そして、今年の最も大きな活動である「運動会」に取りくむことになりました。運動会は学校の大きな行事です。そして、私達が一番楽しみしている行事でもあります。

あつい太陽の照りつける、運動場での練習は正直いつてきつかったり、だるかったりするのですが、今年の運動会はちがっています。演技種目を各学年の計画委員会で話し合ってみんなで決めた。実行委員会を作つてそこで運動会の役割分担をしたからです。みんないっしょうけんめい取り組みました。教室では時々しかられている人が、テキパキと係の仕事を進めている姿は、とても感動的でした。

私は進行係として、演技種目の時間を計ったり、おくれそうな時はスターターにれんらくしたり、団技、リレーの優賞旗を係に手わたしたりして、気が抜けません。前の日まで先生方とよく相談しましたので、当日はまごつかず、スムーズに進行ができたのでとてもよかったです。

先生方は、私達が自分達でできるようにプログラムの工夫をして下さいました。運動会当日は、始

安というか、もの足りなさを感じています。その第一は、梶山地区の問題で、人口の過疎のことです。ほくたちが入学した昭和六十二年ごろは、児童数が百三十人くらいいたのですが、今はたった七十五名しかいません。全校児童が学年の別なくそうじをしたり、遊んだりするのは良いのですが、運動会や学習発表会などは、なんだかさびしく感じます。それに、選手による全校リレーができない状態です。

来年は複式学級もできると聞いています。三股西小校区は、次から次へと家が建ち、児童数が増えているようですが、梶山にはほとんど新しく建つ家は見られません。そのため転入生もいません。

そこで、ほくは、梶山地区にも活気を生みだし、人口を増やすために、自分なりに次のようなことを考えてみました。

それは、梶山の特色を生かした、いろいろな施設をつくることです。例えば次のようなものをです。「サイクリングコース」や「ハイキングコース」、「カヌーやボートで遊べる川や池の整備」、それに、キャンプ場や、宿泊場を中心とした「自然公園」など、自然を生かす梶山にすることです。そうすれば自然に人が集まり、住宅ができ、

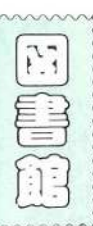
活気が生まれるのではないのでしょうか。

第二は、三股を流れる沖水川の公害によるよごれの問題です。よく、勉強や遊びでめがね橋辺りにでかけますが、ビニール、発泡スチロール、お菓子の袋、それに空き缶など、よく目に付きます。この前、「梶山っ子」という創意の時間に、全校児童で空き缶拾いをしましたが、集まった量にとってもおどろいてしまいました。

また、母から聞くところによると、その川は昔、物がしずんでいくのがよく見えて、メダカやどじょう、それにゴミナというホタルのえさがいたそうです。しかし今は、そのような感じはありません。

こんな川ですが、私達の生活にはなくてはならない水です。少しでもみんなの力で美しい流れにする必要があると思います。

いろいろなものを投げ捨てない、洗たく洗剤の量を考えるなど、各家庭で気をつければよごれはかなり防げるはずです。また、下水道の整備や浄化施設をつくることはお金をかけなければなりません。いろいろ難しい問題があると思いますが、沖水川は町民の生活の川です。みんなが川の大切さを知り、大事にしてくれると、メダカなど



だより (第73号)

図書館学習

小学一年生

昨年十一月二十七日は三股小

三股小の一年生のお友だちが図書館に来て、本を借りるとき、読むときの心得や手続きの勉強をしました。ぶどうの会のおかあさん二人から、よみきかせ、紙しばい、ペープサートしてもらい大喜びでした。ほかの学校の一年生も同じように、別な日に行ないました。

本の交換会 お礼

先日のお礼のふりさとまつりで第3回ぶどうの会本の無料交換会を開きましたところ、多数のご協力により成功することができました。ありがとうございました。

なお、来年も企画したいと思っていますので、また、ご協力をお願いいたします。

前日までに集まった本

一、七七五冊

当日持込まれた本

一〇〇冊

午前中は、一冊対一冊で提供者と交換しましたが、午後は希望者には無料で一人二冊あて差上げました。

ぶどうの会一同

講演会のお知らせ

主催 三股町教育委員会・町図書館

期日 平成五年二月六日(土) 午後二時～四時十分

会場 三股町役場四階大会議室

演題 サルに学ぶ子育て

講師 三戸サツエ氏 (元京都大学幸島観察施設 研究所非常勤講師)

入場無料 整理券が必要です。

問い合わせ先 52-1-11 図書館

1月の休館日

週	日	月	火	水	木	金	土
①		28	29	30	31	1	2
②	3	4	5				
③		11	12			15	
④	17		19				
⑤		25	26				

2月の休館日

週	日	月	火	水	木	金	土
①		1	2				
②		8	9		11		
③		15	16				
④	21		23				
⑤		1	2				

9、16、23日は午後1時から 2日は休館日代休 6日から開館 12、19、26日は午後1時から

成人 おめでとう

学生の皆さん、国民年金に加入しましょう

これからの暮らしを守り 保証する パートナーなら 国民年金

まちづくり

あなたの価値ある一票を

国づくり



の魚が沢山住み、スイスイと泳ぎ回る川になると思います。

最後は交通事故防止です。ほくたちは、集団登下校や交通教室などで、交通事故にあわないようにしています。

五年の時の先生から三股は交通違反が非常に多く、ワースト何位だということをお聞きしました。集団登校しているときなど、猛スピードでとばす車をよく見かけます。

学校の近くでも時々交通事故が起きています。もう少しゆっくりを持って運転をして、歩行者、特に子供やお年寄りの人達にも

新刊図書のお知らせ

町立図書館では、次の図書を入りました。ぜひ、ご利用ください。

書名 著者名

〔一般向〕

茜に燃ゆ 上下 黒岩 重吾
二十一世紀への手紙 曾野 綾子
共生時代のエコノミー大塚 勝夫
土俵の鬼二子山勝治伝川端 要壽
慟哭の海 朴 炳植
生きる幸福老いる幸福 宇野 千代

〔小・中学生向〕

子守唄の余韻 藤田 順子
モモヨ、まだ九十歳 群 ようこ
定本・からだの手帖 永井明十「からだの手帖」編集室
複合不況 宮崎 義一
おいしい人間 高峰 秀子
老いの道自立の道 吉村不二夫

文芸まんが

「三四郎」 夏目 漱石
「狐・すみだ川」 永井 荷風
一・二年の作文 漆原ともよし
三・四年の作文
五・六年の作文
おかわりにならない? 佐藤多佳子
なきそプリンタ 武井 博

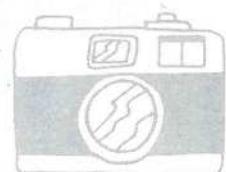
こぶたプリンタのネコファンジャッタ おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京
おさるのまいにち 森山 京

〔幼児向〕

おばあちゃんのはたけ 大西ひろみ
おにいちゃんとはたけ 大西ひろみ
どこいくの? わたなべさもじろう
だんまりくらべ 遊子
はしのうえのおおかみ 奈街 三郎
ぶたくんと一〇〇ぴきのおおかみ 奈街 三郎
わたしやほんとにうんがい せなけいこ
マトリョーミカちゃん 加古 里子



町の話題



手づくり「みこし」でパレード

にぎわった「ふるさとまつり」

十一月二十一日、二十二日

第二回三股町ふるさとまつりが、十一月二十一、二十二日の二日間、中央公民館前広場を中心会場として開かれました。

まつりは、豊かで住みよい活力のある町づくりを進めようと町と農協、商工会、文化協会が一体となって取り組んだもの。

まつりでは、マジックショーやカラオケ大会、演奏会、郷土芸能、お楽しみ抽選会などバラエティーに富んだ催しが繰り広げられ

たほか、文化作品の展示や文化協会の舞踊発表会、地場産品の展示即売などがあり、両日も大変なにぎわいを見せました。

また、今回の祭りは「ただ見るだけでなく、自ら参加する祭り」がテーマ。オープニングに先立ち、保育園や幼稚園、青年団、婦人会など十六団体が手づくりのみこしや仮装で三股小から会場まで約八百メートルをパレードしたり、手作り村では、親子が一緒になってコーヒークップや本立てを作りふれあいを深めました。



43組の金婚式

夫婦湯のみを贈る

昭和十六年に結婚され、今年五十周年を迎えられたご夫婦を祝う金婚式が、十一月二十五日午前十時から、第一地区公民館で開かれました。

金婚式は、ご夫婦の長年の労をねぎらおうと町社会福祉協議会が行ったもので、今年で七回目。長寿社会を反映してか、四十三組もの夫婦が出席しました。

式では、会長の福永町長が「夫婦仲良く、いつまでも元気で長生きして下さい。」とあいさつした後、それぞれに賞状と個人名の入った夫婦湯のみを贈りました。その後、昼食会やアトラクションが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

図書館に一年生を招待

小学校一年生を対象にした町立図書館の見学会が学校単位で実施され、十二月九日、三股西小学校の一年生一四〇名が来館しました。見学会は図書館に馴れ親しんでもらおうと、四年前から行っているもの。施設の利用促進がねらい。

この日は、児童数が多いため二班に分かれての来館。図書館の担当者から館内での作法や本の借り方などの説明を受けた後、「ぶどうの会」の協力で紙芝居や絵本の読み聞かせがあり、子供たちは楽しいひとときを過ごしました。



金属造型の世界的権威

蓮田修吾郎さんが来町



典子さんの招きで実現したものの。この日は、福永町長や高畑信雄議長、山元六男文化協会会長など七名が先生を出迎え、約一時間にわたって文化行政などを話題に話が弾みました。

活発にパネル討議

PTA研究大会を開催

「親子(地域)のふれあいを深め、たくましい子どもを育てるPTA活動」を研究主題に、町PTA研究大会が十一月二十九日、長田小体育館で開催されました。大会は、町PTA協議

空き缶一万个の浮世絵

文化祭で三股中の校舎に

空き缶でつくった北斎の浮世絵「赤富士」が十二月上旬、三股中学校(鶴久昭郎校長、生徒数一、

〇五五名)の校舎に掛けられ、同校を訪れた人々の目を一週間にわたって楽しませました。

壁画は、地球環境を保護する立場から資源の再利用の大切さを知ろうと、生徒会が文化祭の作品として製作したもの。使った空き缶は一万八千個で、四月から全校生徒が道端で拾ったり、家から持ってくるなどして集めました。

壁画の大きさは縦七・二メートル、横十二メートル。缶の色をそのまま活かして富士山には赤いコカ・コーラの缶、空には青色の缶、雲には白い缶を使用。浮世絵は北斎にも匹敵する上々の仕上がりが



会(愛甲進一会長が毎年開いているもので、今年の大大会にはPTA会員や関係者約四百名が参加しました。

大会では、PTA活動功労者として五名が表彰された後、「感性・耐性を育てる環境をめざして」をテーマにパネル討議に移行。長田小の白井哲日子校長をコーディネーターに、PTA会長や地区公民館長、保護司、教頭の四名がパネラーとして壇上に上がり、それぞれの立場から活発な意見を交換しました。

で、同校を訪れた人々をうならせました。